

ムーミンたちの、優しくてちょっと不思議な世界へようこそ!!

©Moomin Characters™

# MOOMIN

ムーミンハウス  
をつくる

組み立てガイド

13





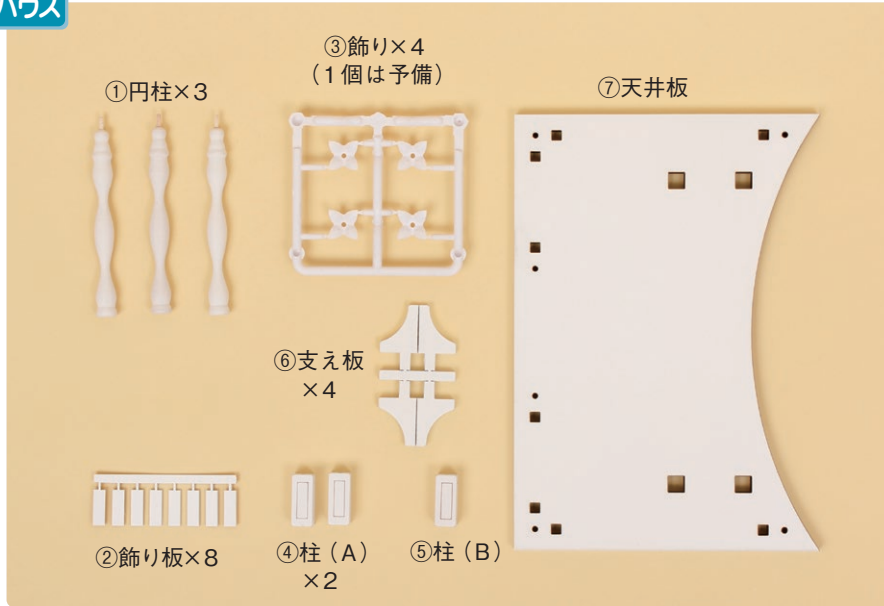


<https://deagostini.jp/app/moo/>

## ハウス ベランダの柱、天井を組み立てる

### 今号のパーツ

#### ハウス



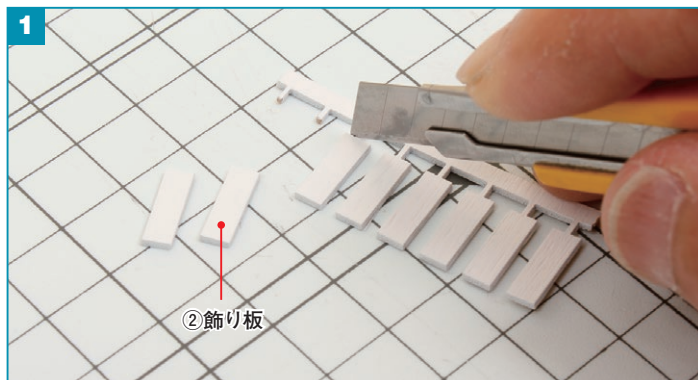
#### 使う道具

- 木工用ボンド
- カッターナイフ
- カッティングマット
- 紙ヤスリ (240番)

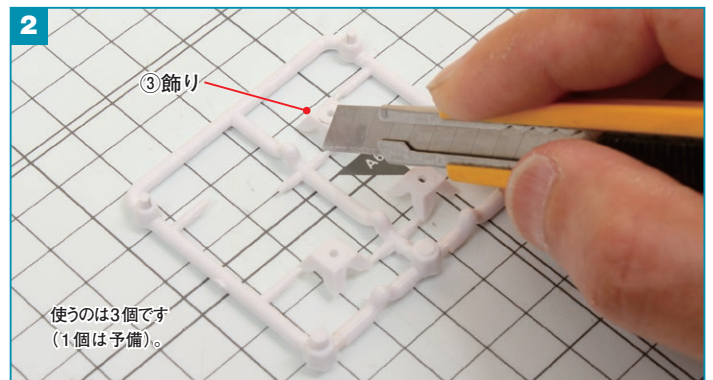
#### あると便利な道具

- ピンセット

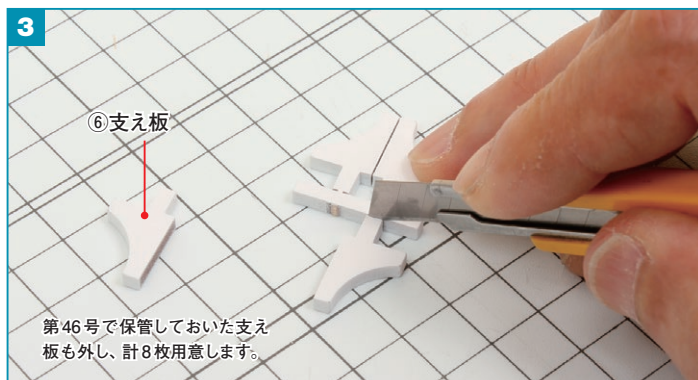
## ハウス ベランダの柱の組み立て



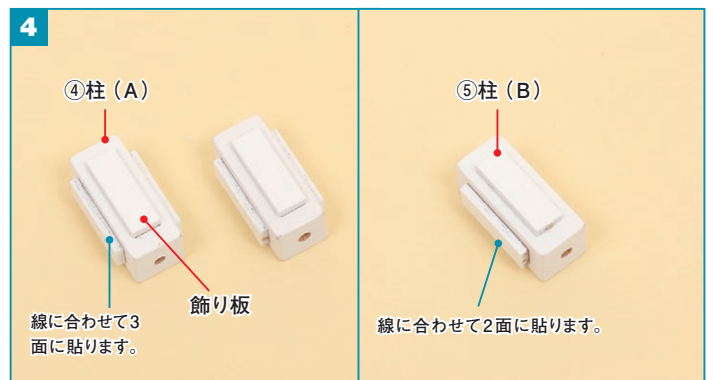
②飾り板の継ぎ目をカッターナイフで切って外し、切り口に紙ヤスリをかけて平らにします。



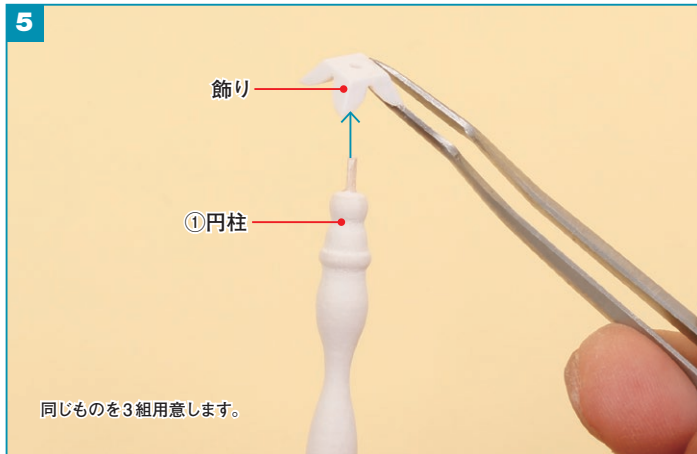
同様に、③飾りも継ぎ目をカッターナイフで切って外し、切り口に紙ヤスリをかけて平らにします。



さらに、⑥支え板も継ぎ目をカッターナイフで切って外し、切り口に紙ヤスリをかけて平らにします。

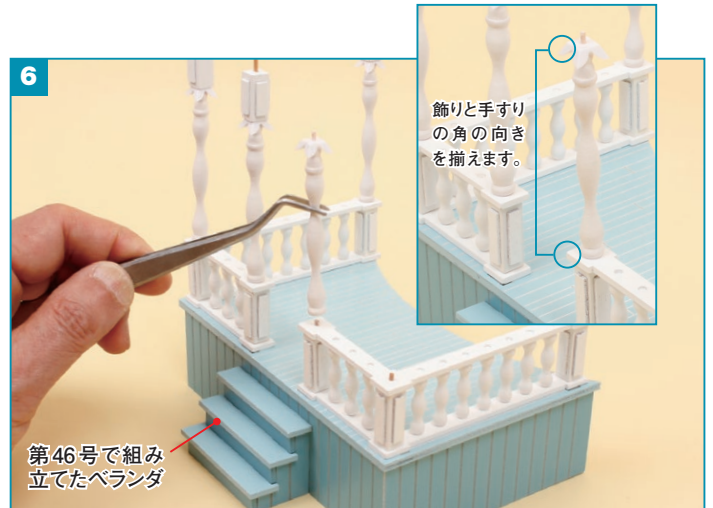


④柱(A)と⑤柱(B)の側面に記された線に合わせて、飾り板を1枚ずつボンドで貼ります。

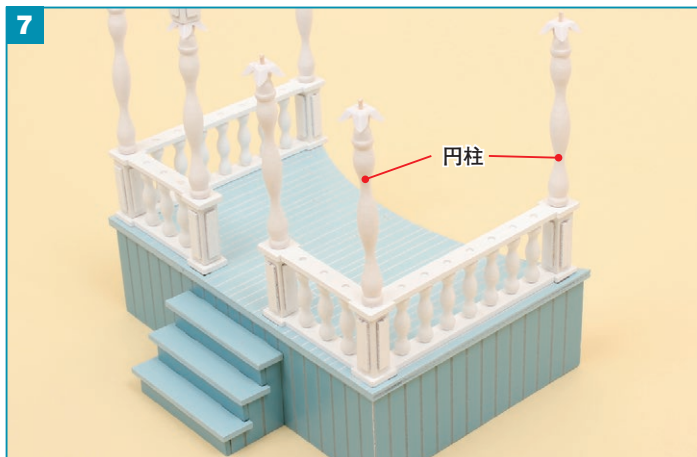


①円柱の突起の先を飾りの穴に通します。

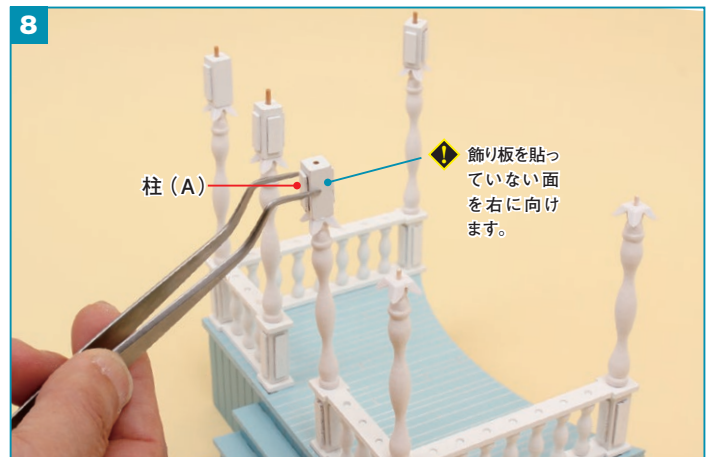
※円柱の突起が差し込みづらい場合は、飾りの穴を丸ヤスリで広げるか、円柱の突起の先端の塗料をカッター等で削ると入りやすくなります。



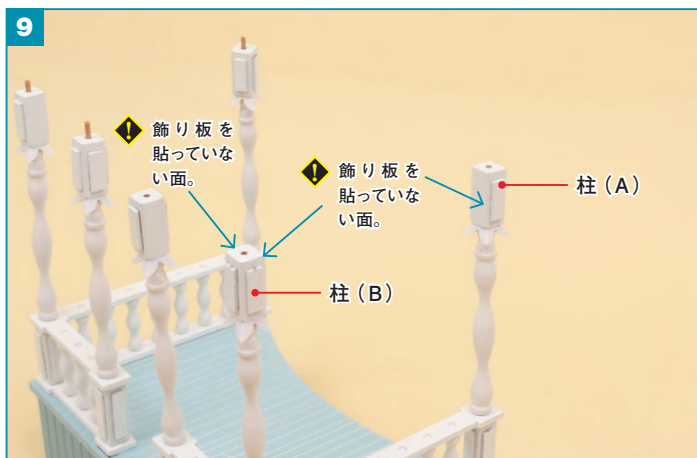
第46号で組み立てたベランダを用意し、右側の手すりの上に⑤の円柱をボンドで接着します。



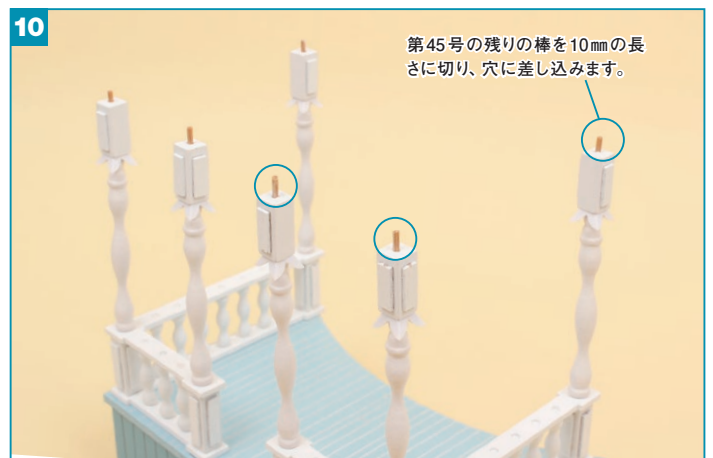
⑥と同じ要領で、右側の手すりの残り2か所に円柱をボンドで接着します。



⑥でつけた円柱の上に、柱(A)をボンドで接着します。



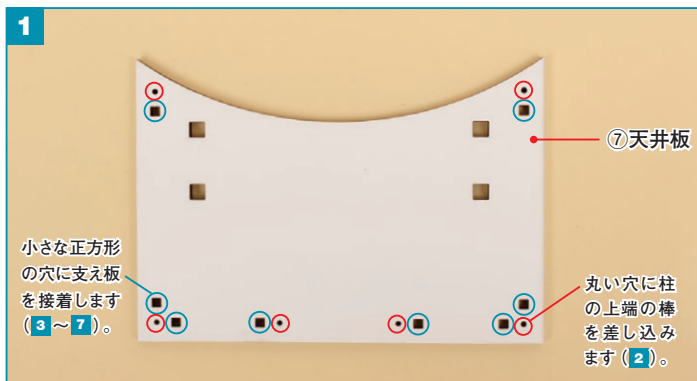
残り2本の円柱の上に、柱(A)と柱(B)をボンドで接着します。向きに注意しましょう。



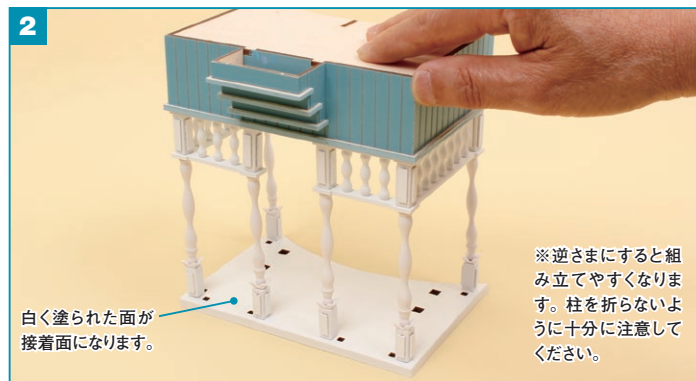
第45号の残りの棒を用意し、カッターナイフで10mmの長さに切ってから(3本用意します)、柱の上面の穴に1本ずつ差し込んでボンドで接着します。



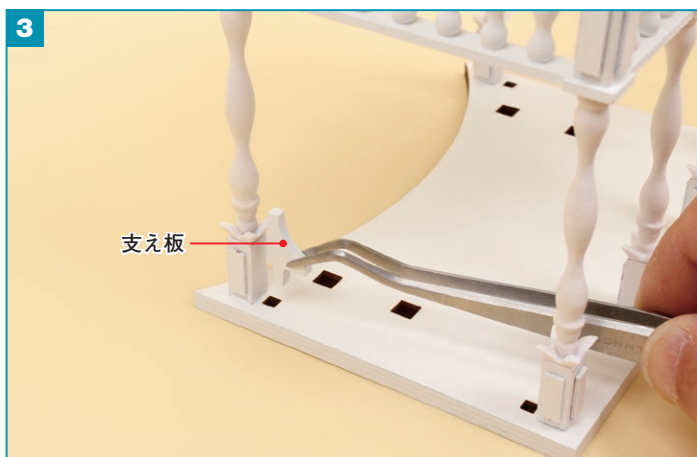
## ハウス ベランダの天井の組み立て



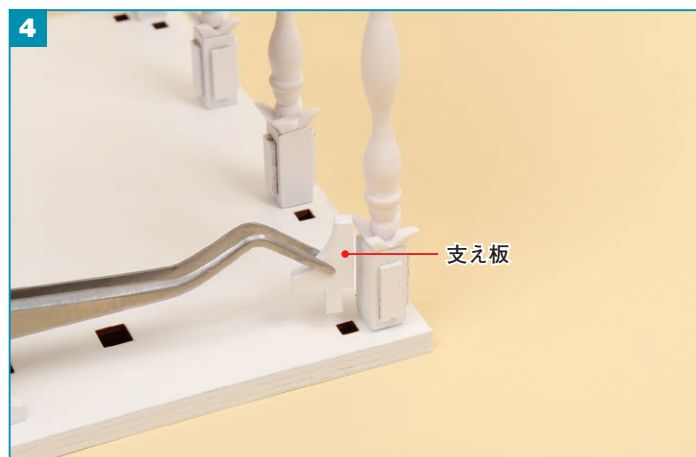
⑦天井板を用意し、穴の位置や形を確認します。



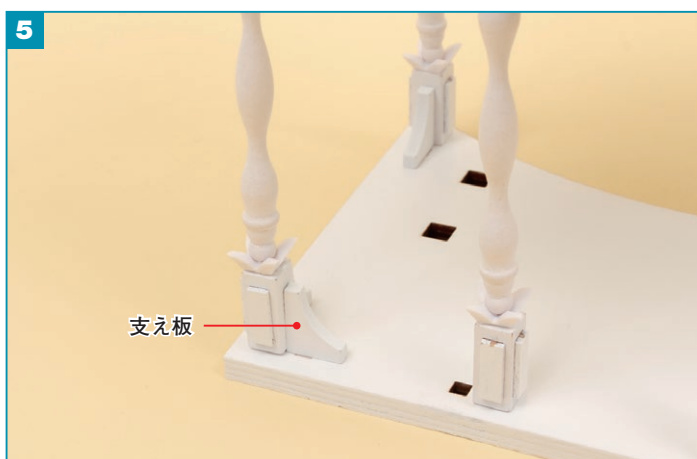
ベランダの柱の上端の棒を1で確認した丸い穴(赤丸部)に差し込み、ボンドで接着します。



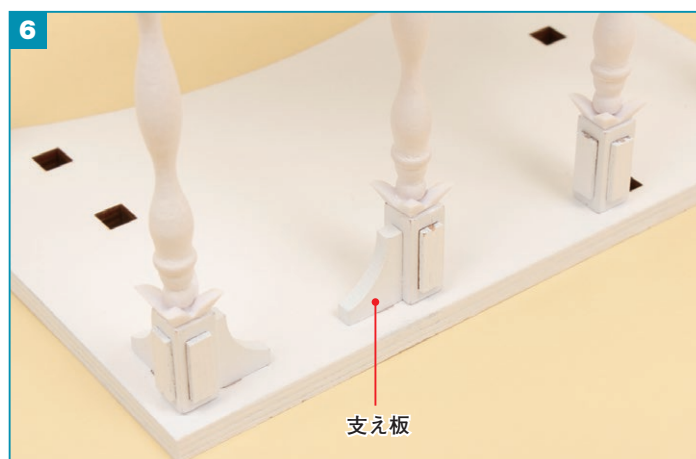
天井板の左奥側の正方形の穴に支え板の突起を差し込み、ボンドで接着します。



同様に、左奥から2番目の穴に支え板をボンドで接着します。

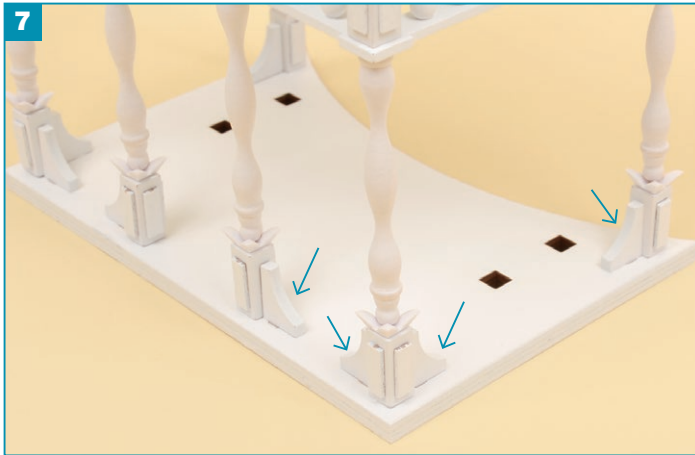


さらに、左手前側の穴に支え板をボンドで接着します。



左手前から2番目の穴に支え板をボンドで接着すると、片側の完成です。





3～6と同じ要領で、右側の正方形の穴にも1枚ずつ、支え板をボンドで接着します（青矢印）。

今号の  
完成

ベランダに天井が加わり、一段とリアリティが増しました。次号からは、ベランダの屋根を組み立てていきます。



保管のポイント

組み立て前や組み立て途中のハウス・家具パーツは、エアキャップなどにくるんで、個別に箱に入れるなどして保管するとよいでしょう。

ヤカン

調理ストーブのコンロの上に置かれたヤカン。沸かしたお湯で、おいしいコーヒーや紅茶をいれて一息つくのでしょうか。

野菜

シンクにはキャベツやカボチャといった野菜が入っています。ムーミンママが料理をつくるために野菜を洗います。



※本キットには付属しません。

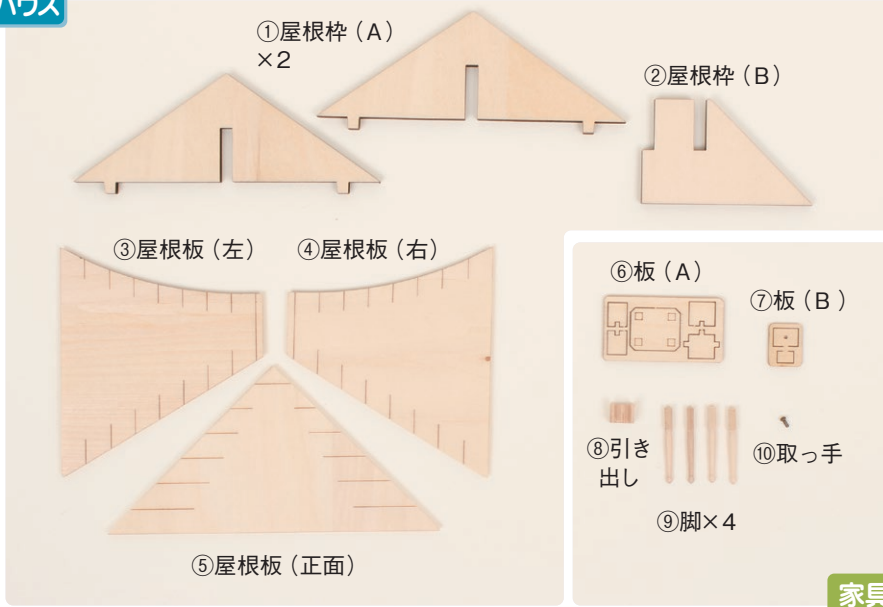


<https://deagostini.jp/app/moo/>

ハウス ベランダの屋根板、家具 踊り場のサイドテーブルを組み立てる

今号のパーツ

ハウス



使う道具

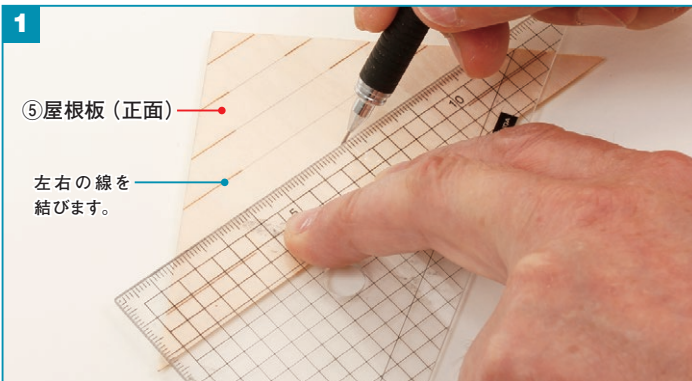
- 木工用ボンド
- 瞬間接着剤
- 三角定規
- シャープペンシル (鉛筆)
- カッターナイフ
- カuttingマット
- 紙ヤスリ (240番)
- キッチンペーパーなど
- 絵皿 (紙皿でも可)
- 筆
- アクリル絵の具
- ・ローシェナー (茶)

あると便利な道具

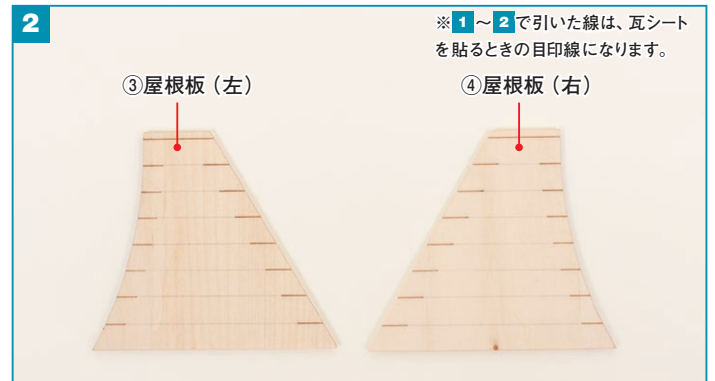
- ピンセット

家具

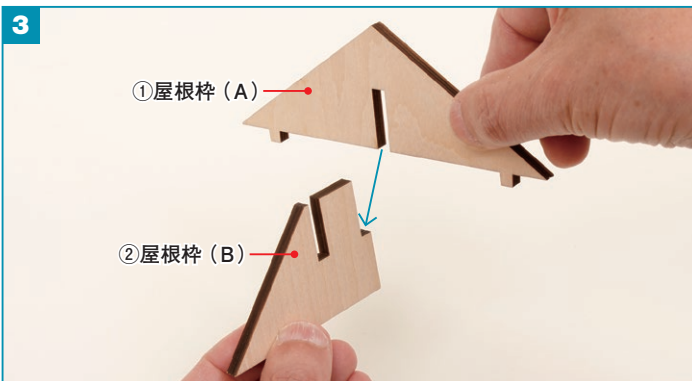
ハウス ベランダの屋根板の組み立て



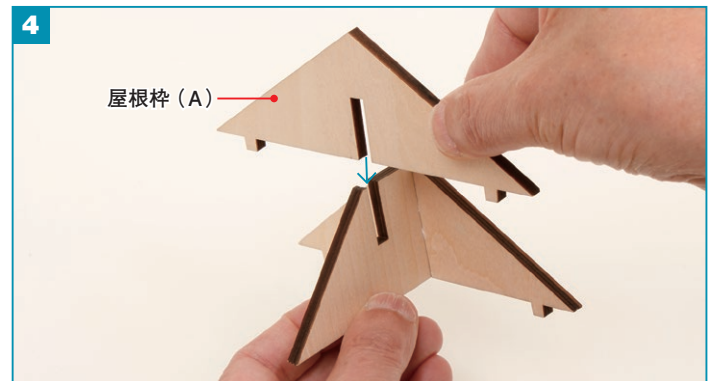
⑤屋根板(正面)に刻まれた左右の線を結ぶように、シャープペンシルで線を引きます。



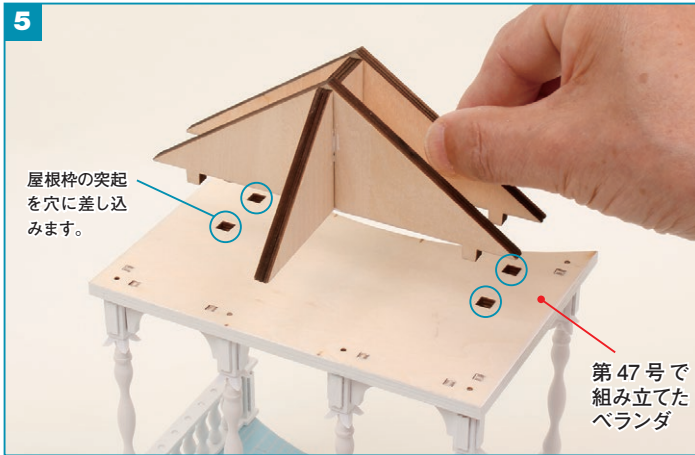
※1~2で引いた線は、瓦シートを貼るときの目印線になります。  
同様に、③屋根板(左)と④屋根板(右)にも線を引きます。



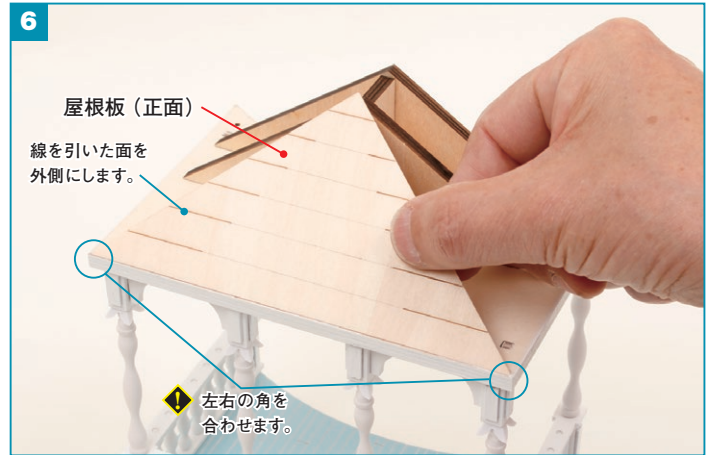
②屋根枠(B)と①屋根枠(A)の切り込みをかみ合わせ、ボンドで接着します。



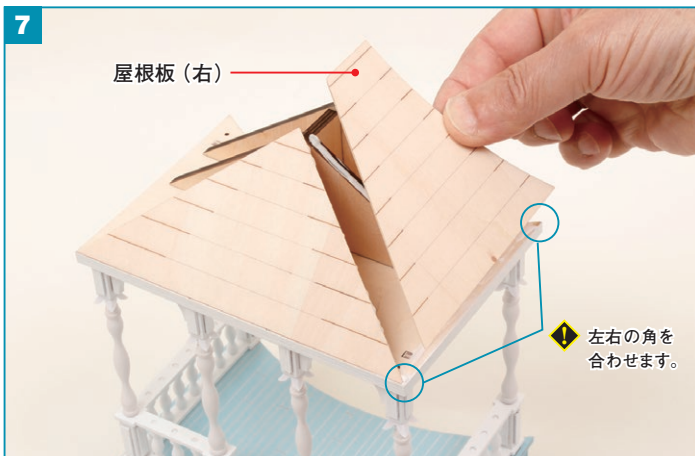
屋根枠(B)の残りの切り込みにも、もう1枚の屋根枠(A)をかみ合わせ、ボンドで接着します。



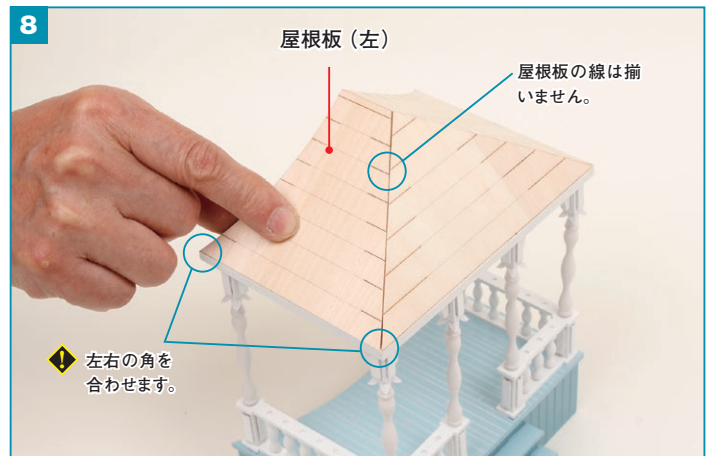
第47号で組み立てたベランダを用意し、天井板の上面に屋根枠をボンドで接着します。



屋根枠の正面に、屋根板(正面)をボンドで接着します。



屋根枠の右側に、屋根板(右)をボンドで接着します。



同様に、屋根枠の左側に屋根板(左)をボンドで接着します。



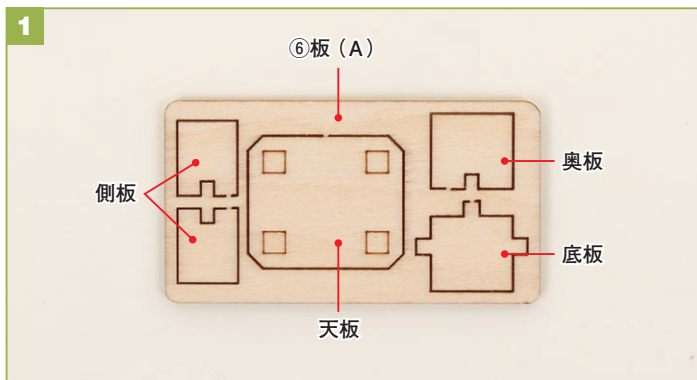
今号の  
完成

屋根板が加わり、ベランダの形ができてきました。次号では、屋根板に瓦シートを貼ります。

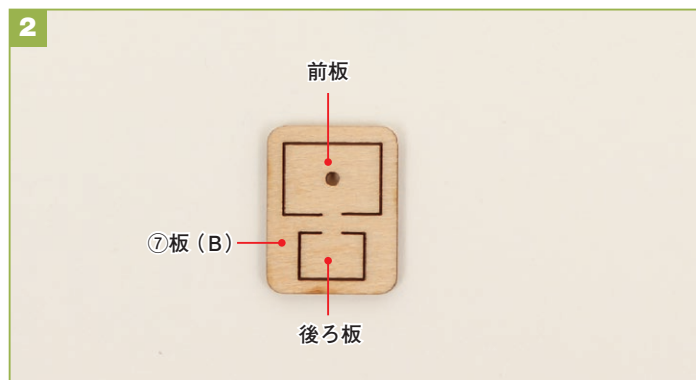




## 家具 踊り場のサイドテーブルの組み立て



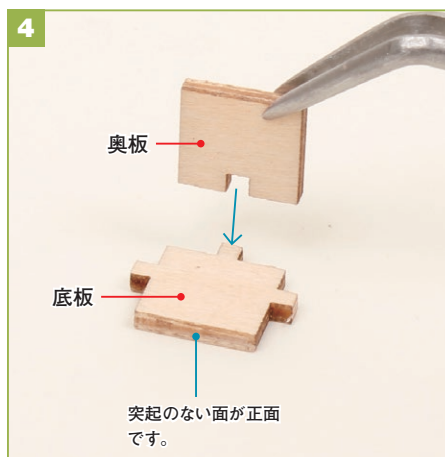
⑥板 (A) の継ぎ目をカッターナイフで切って各パーツを外し、切り口に紙ヤスリをかけて平らにします。



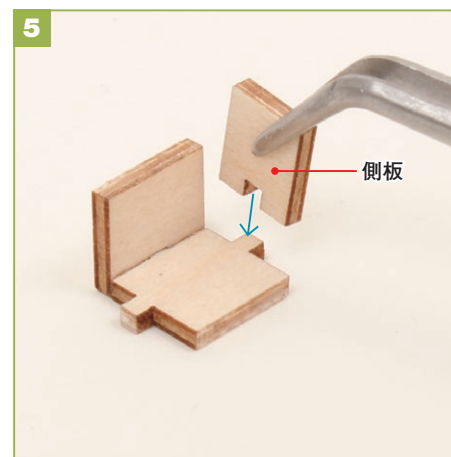
同様に、⑦板 (B) から引き出しの前後の板を外します。



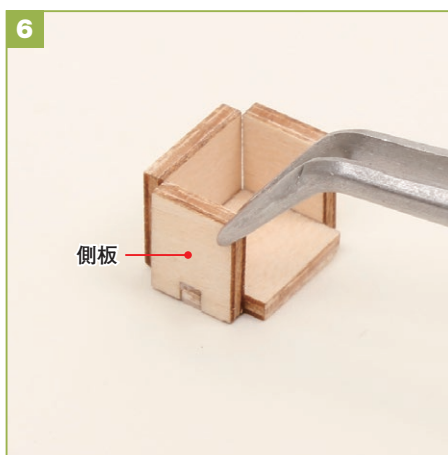
①～②で外した各パーツの厚みの焦げ目を紙ヤスリで取り除きます。



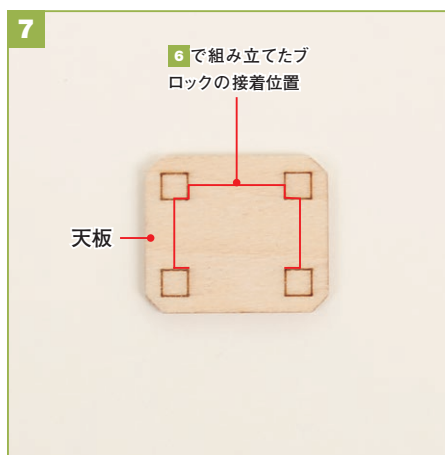
底板の奥側に、奥板をボンドで接着します。



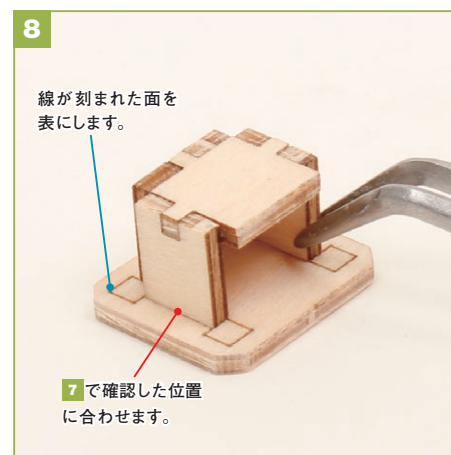
底板の右側に、側板を1枚、ボンドで接着します。



同様に、反対側に残りの側板をボンドで接着します。

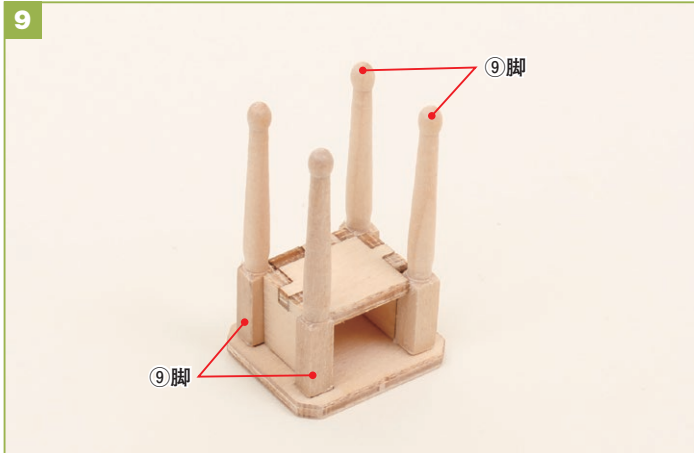


⑥で組み立てたブロックを接着する位置を確認します。天板の線が刻まれた面、赤線部に接着します。

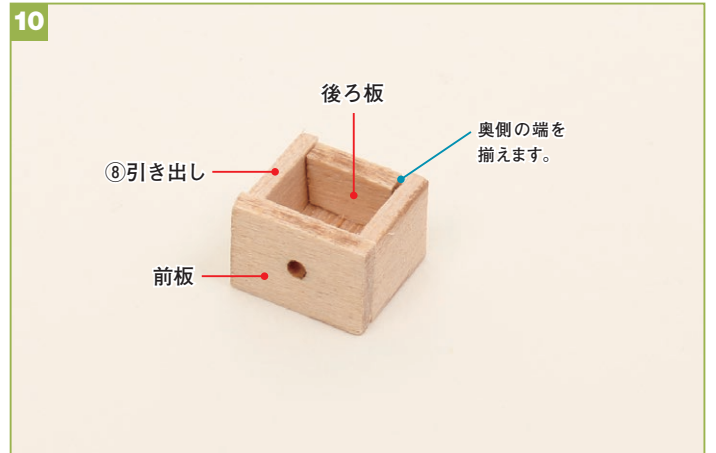


⑦で確認した位置に合わせて、⑥で組み立てたブロックをボンドで接着します。





9 天板の正方形の線の部分に⑨脚を1本ずつ、ボンドで接着します。



10 ⑩引き出しに、前板と後ろ板をボンドで接着します。

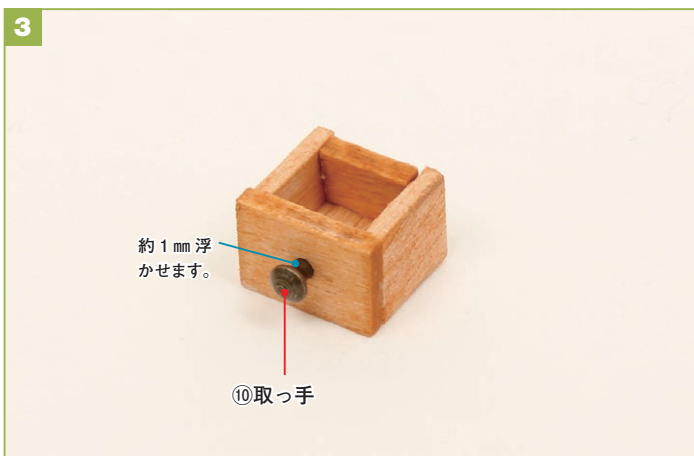
## 家具 踊り場のサイドテーブルの組み立て（着色）



1 着色します。「割合の目安」を参考に絵の具を出し、よく混ぜ合わせます。



2 絵の具を筆に取り、⑨で組み立てた本体と⑩の引き出しに塗ります。



3 引き出しの前板の穴に⑩取っ手を差し込み、内側の面に少量の瞬間接着剤をつけて固定します。

今号の  
完成

開口部に引き出しを入れて完成です。さっそく、2階の踊り場に置いてみましょう。



保管のポイント

組み立て前や組み立て途中のハウス・家具パーツは、エアキャップなどにくるんで、個別に箱に入れるなどして保管するとよいでしょう。

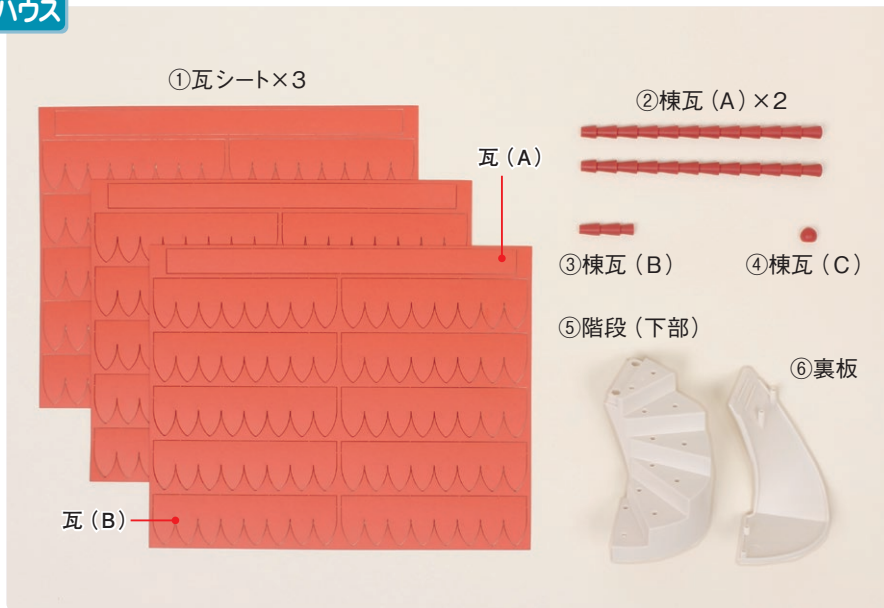


<https://deagostini.jp/app/moo/>

## ハウス ベランダの瓦、2階の階段(下部)を組み立てる

### 今号のパーツ

#### ハウス



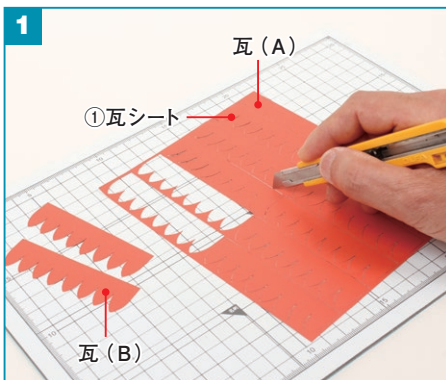
#### 小物

⑦タイプライター

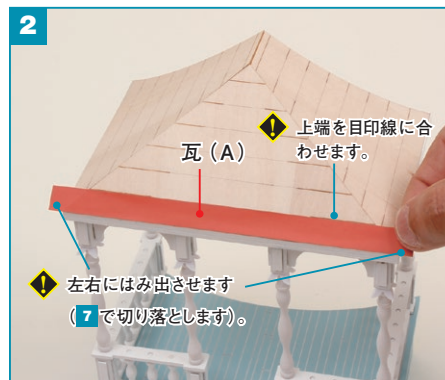
#### 使う道具

- 木工用ボンド
- 瞬間接着剤
- シャープペンシル(鉛筆)
- カッターナイフ
- カッティングマット

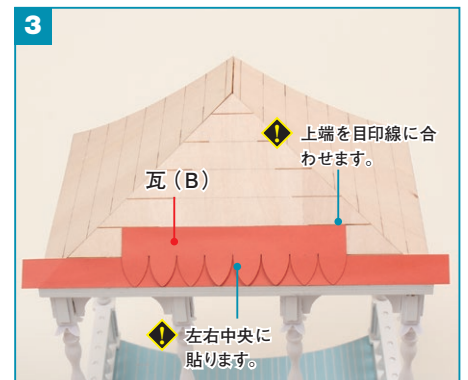
## ハウス ベランダの瓦の組み立て



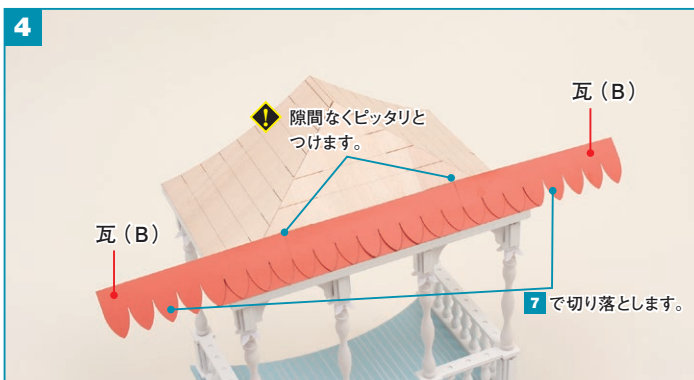
①瓦シート(3枚)の継ぎ目をカッターナイフで切り、瓦(A)、(B)を外します。



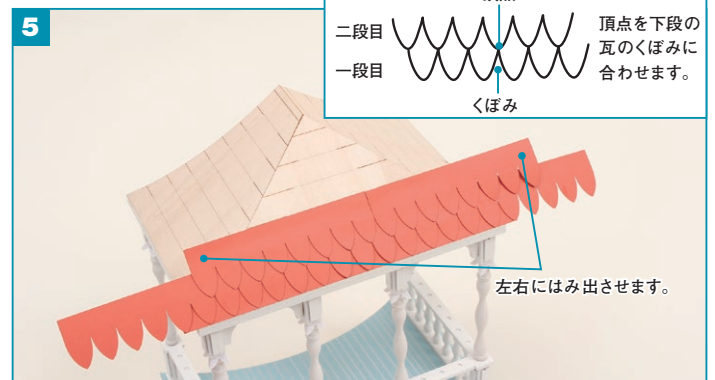
第48号で組み立てたベランダを用意し、正面の屋根根板の下段に瓦(A)を1枚、ボンドで貼ります。



一段上の目印線に合わせて、瓦(B)を1枚、ボンドで貼ります。

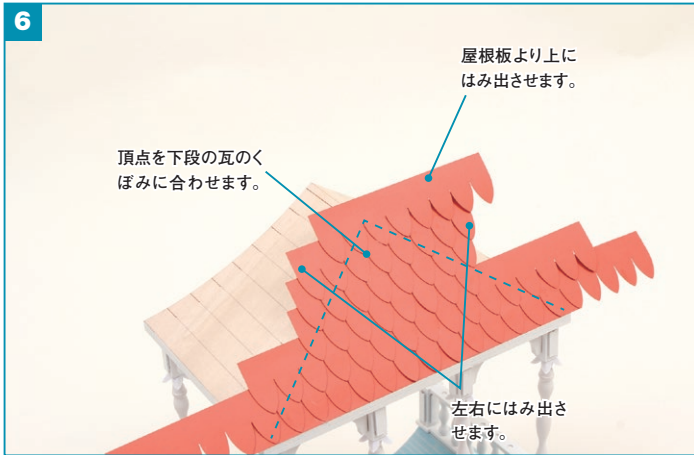


③で貼った瓦(B)の左右に1枚ずつ、瓦(B)をボンドで貼ります。

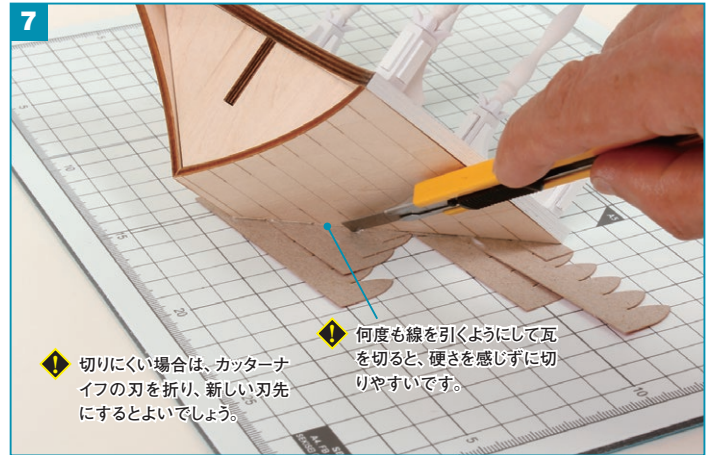


さらに、一段上に2枚の瓦(B)をボンドで貼ります。

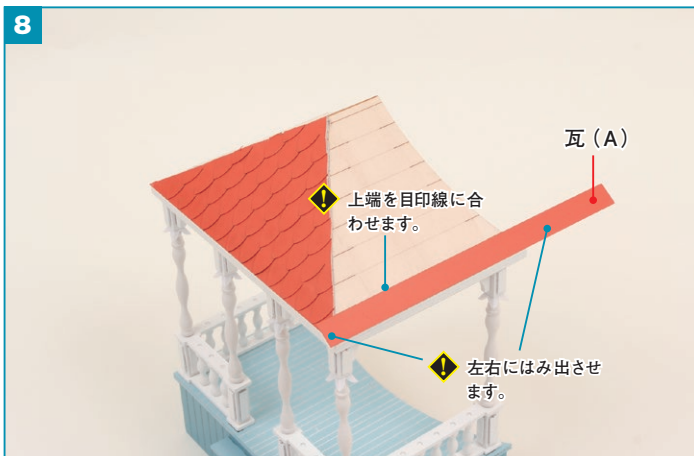




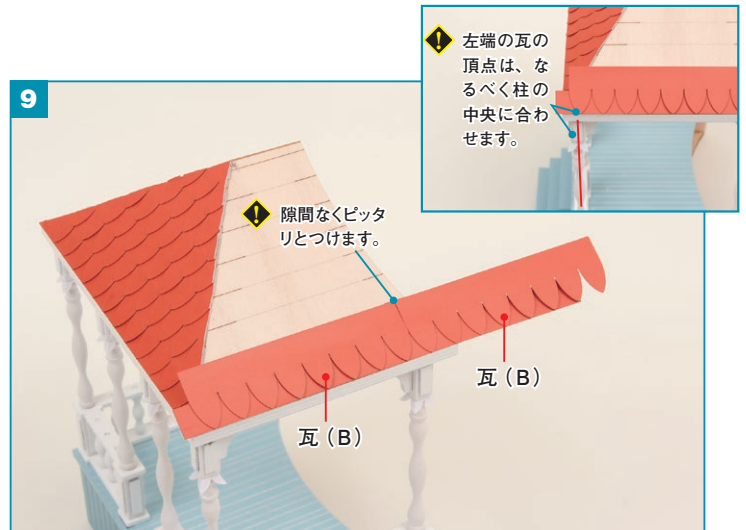
同様に、目印線に合わせて一段ずつ瓦 (B) を貼り (3 枚)、もう一段、上にはみ出させて貼ります。



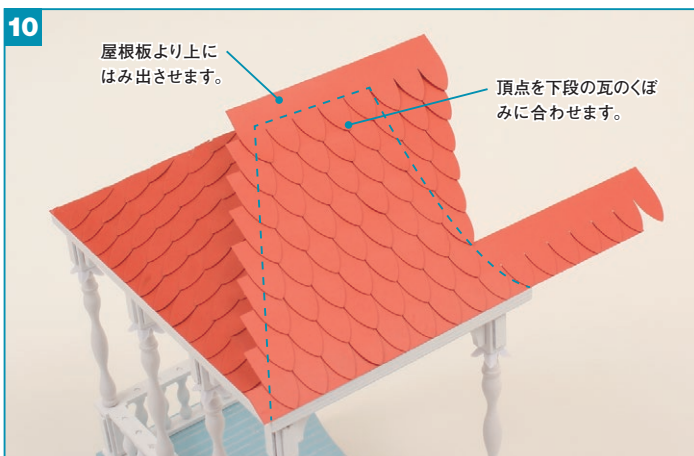
瓦のボンドが完全に乾いたのを確認後、屋根板からはみ出た瓦をカッターナイフで切ります。



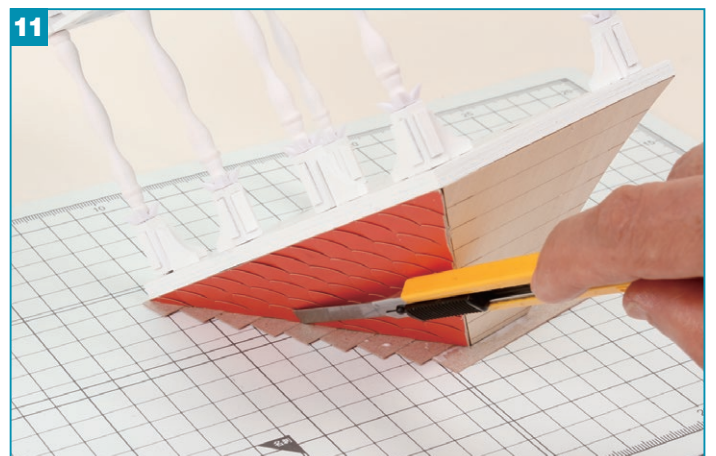
右側の屋根板に瓦を貼っていきます。まず、2と同様に下段に瓦 (A) をボンドで貼ります。



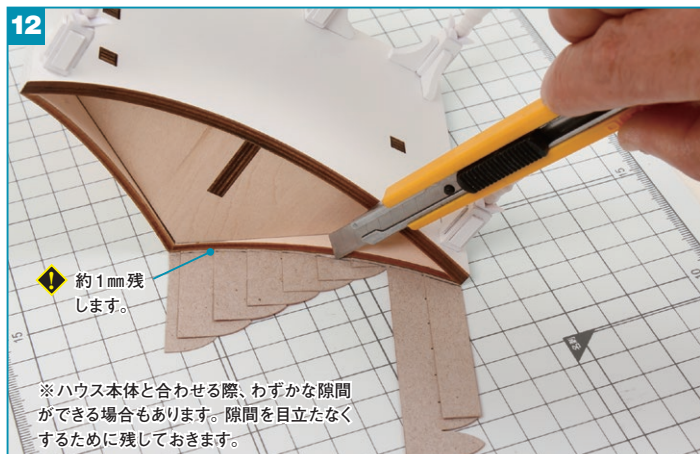
一段上の目印線に合わせて、瓦 (B) を 2 枚、ボンドで貼ります。



目印線に合わせて一段ずつ瓦 (B) を貼り (6 枚)、もう一段、上にはみ出させて貼ります。



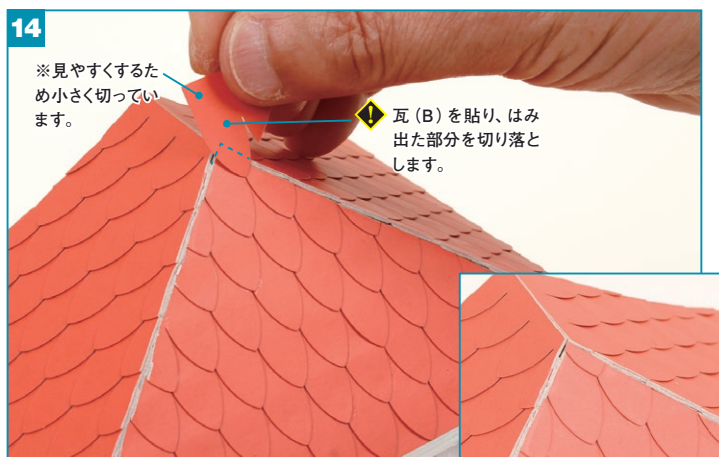
瓦のボンドが乾いたら、屋根板の上端と正面側 (直線部分) にはみ出た瓦をカッターナイフで切ります。



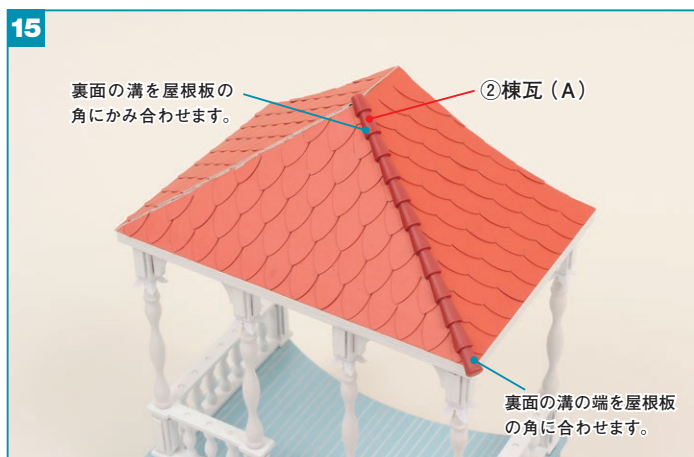
屋根板の後ろ側、曲線部は、約1mm残して瓦を切ります。



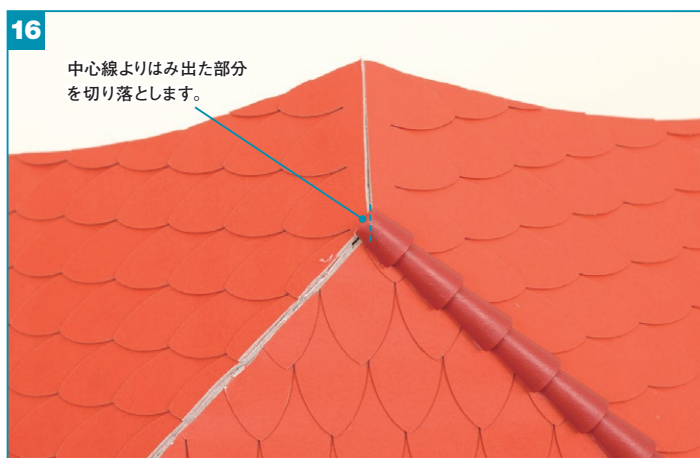
8～12と同じ要領で、左側の屋根板に瓦を貼ります。



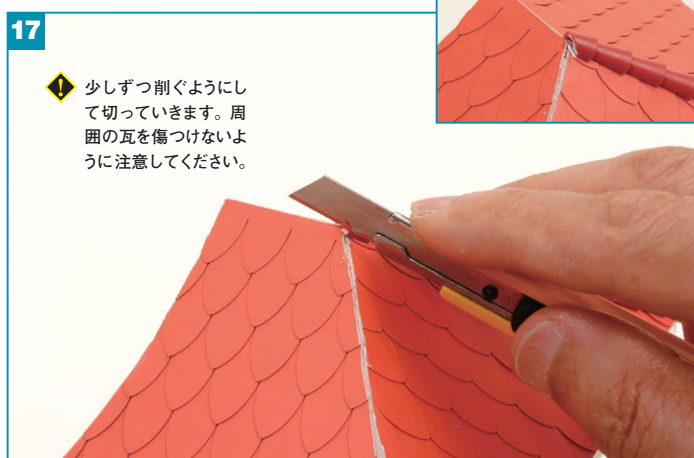
正面の屋根、最上段に、もう1枚瓦(B)を貼ります。



屋根の右手前角に、②棟瓦(A)を1本、瞬間接着剤で接着します。



15でつけた棟瓦は、屋根の中心線よりも左側にはみ出しています。

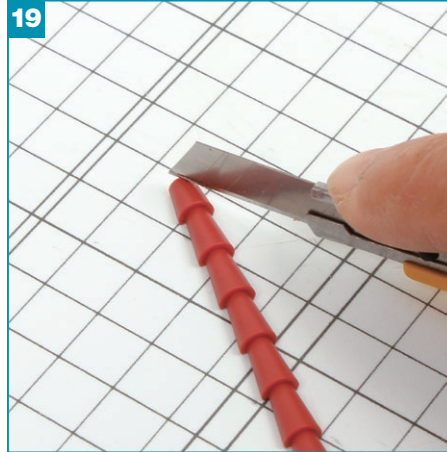


屋根の中心線よりはみ出た部分をカッターナイフで切ります。





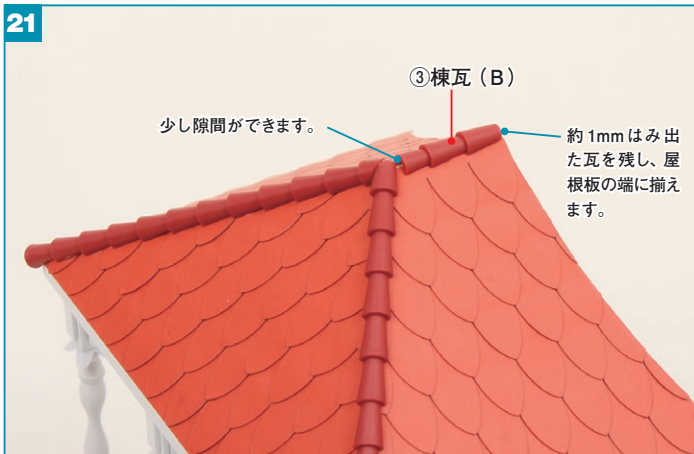
屋根の左手前角に、残りの棟瓦 (A) を当て、右側の棟瓦 (A) と重なる位置にシャープペンシルで目印線を引きます。



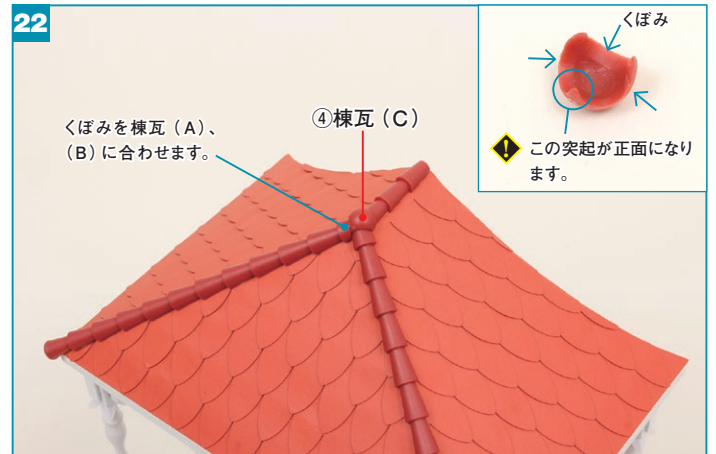
18でつけた目印線の位置で棟瓦 (A) を切ります。



19の棟瓦 (A) を、屋根の左手前角に瞬間接着剤で接着します。



屋根の頂点に、③棟瓦 (B) を瞬間接着剤で接着します。



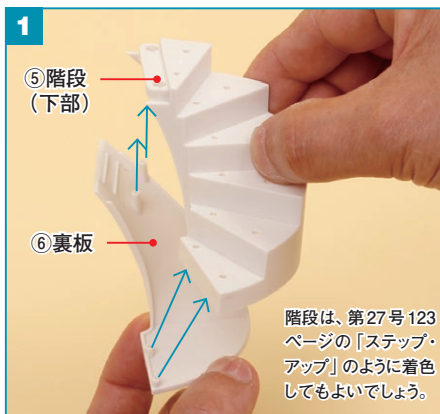
棟瓦 (A)、(B) の交点に、④棟瓦 (C) を瞬間接着剤で接着します。

今号の完成

屋根に瓦が加わり、ベランダの完成です。ベランダの椅子やフィギュアを置いてお楽しみください。



## ハウス 2階の階段 (下部) の組み立て



⑥裏板の突起を⑤階段 (下部) 内側の穴に差し込み、瞬間接着剤で接着します。

今号の完成

次号で上部と組み合わせ、踏み板を貼っていきます。



### 保管のポイント

組み立て前や組み立て途中のハウス・家具パーツは、エアキャップなどにくるんで、個別に箱に入れるなどして保管するとよいでしょう。



組み立てのコツが満載！  
組立サポート  
動画を  
チェック！

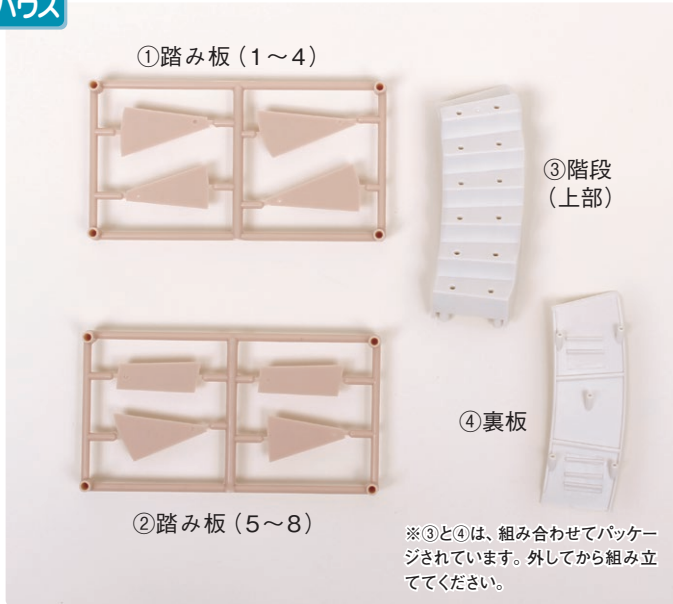


<https://deagostini.jp/app/moo/>

ハウス 2階の階段（上部）、家具 ムーミンパパの椅子を組み立てる

今号のパーツ

ハウス



家具



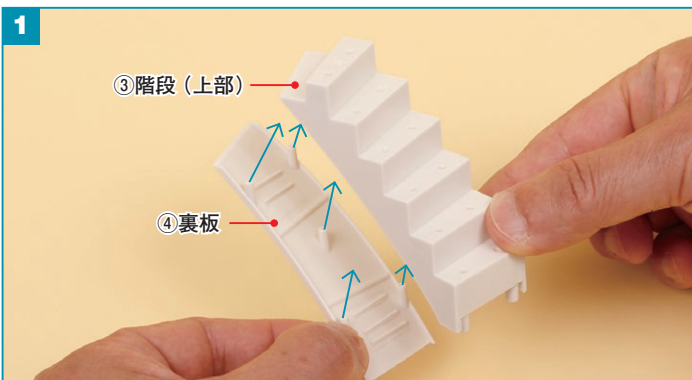
使う道具

- 木工用ボンド
- 瞬間接着剤
- カッターナイフ
- カッティングマット
- 紙ヤスリ (240番)
- キッチンペーパーなど
- 絵皿 (紙皿でも可)
- 筆
- 固形石鹸 (液体石鹸でも可)
- アクリル絵の具
- ・第5号付属の  
バートアンバー (茶)

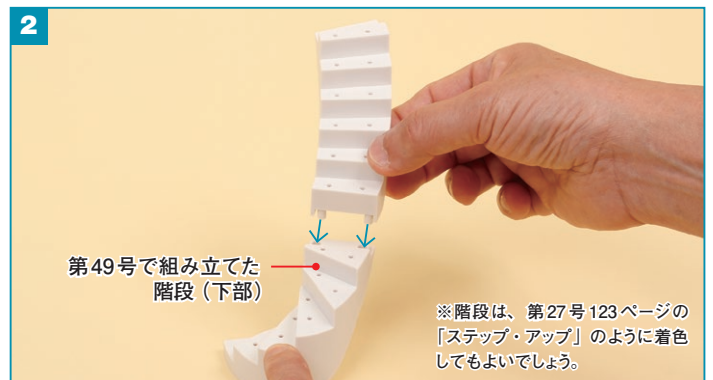
あると便利な道具

- ピンセット
- 割り箸
- 両面テープ

ハウス 2階の階段(上部)の組み立て



④裏板の突起を③階段(上部)内側の穴に差し込み、瞬間接着剤で接着します。

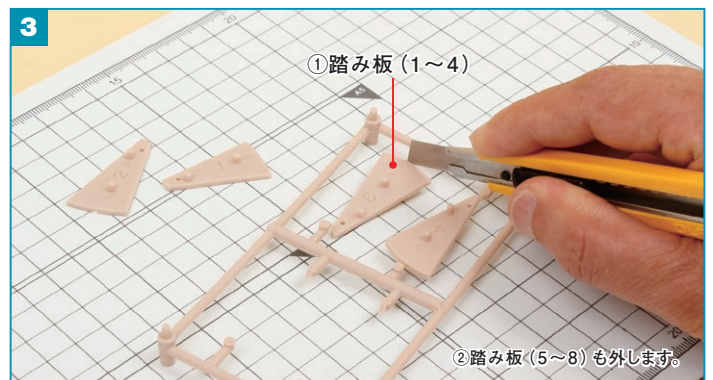
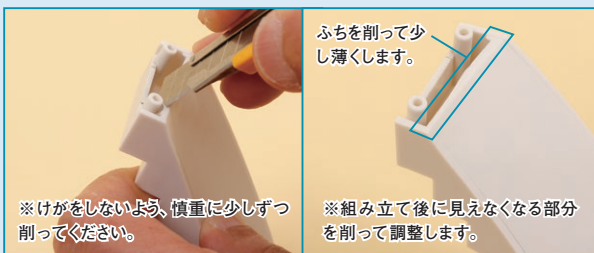


第49号で組み立てた階段(下部)を用いし、上段の穴に階段(上部)の突起を差し込んで、瞬間接着剤で接着します。

ADVICE  
アドバイス

差し込みにくい場合は  
削って調整しよう

階段(上部)が奥まで差し込みにくい場合は、裏板のふちを削ります。



①踏み板(1~4)、②踏み板(5~8)の継ぎ目をカッターナイフで切って外し、切り口に紙ヤスリをかけて平らにします。

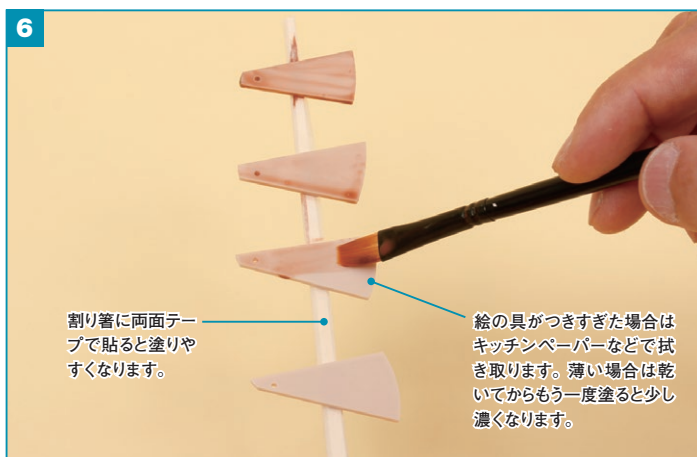




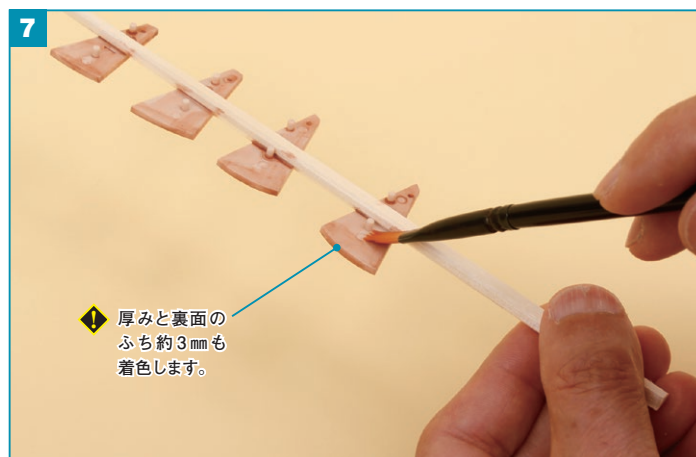
踏み板を着色します。「割合の目安」を参考に絵の具を出して、よく混ぜ合わせます。



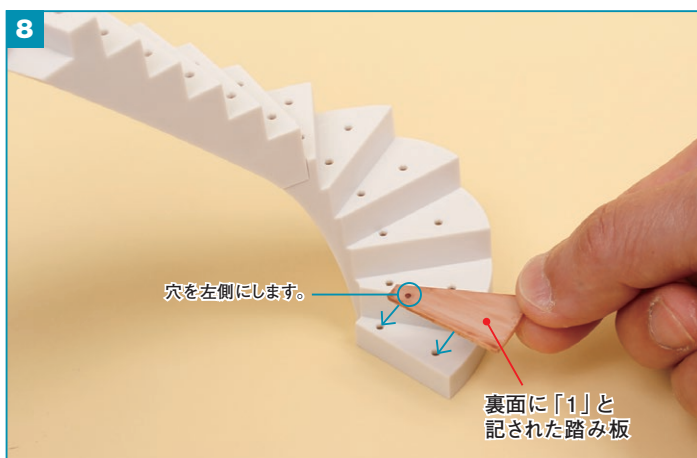
絵の具を筆に取り、水を垂らした石鹼を3、4度なでて絵の具に石鹼水を含ませます。



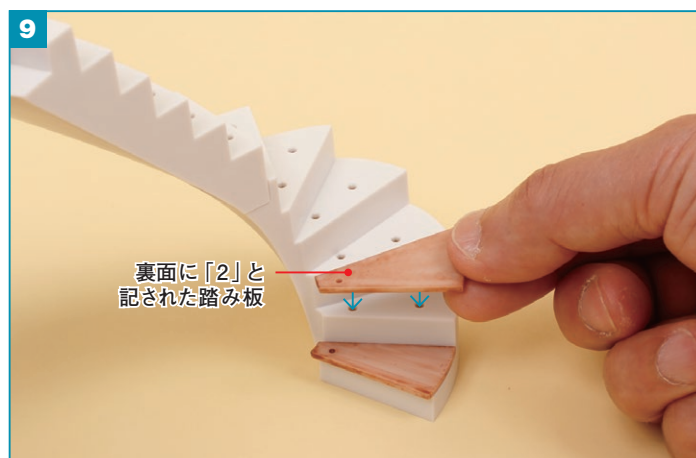
石鹼水を含ませた絵の具を踏み板(1~8)に塗ります。



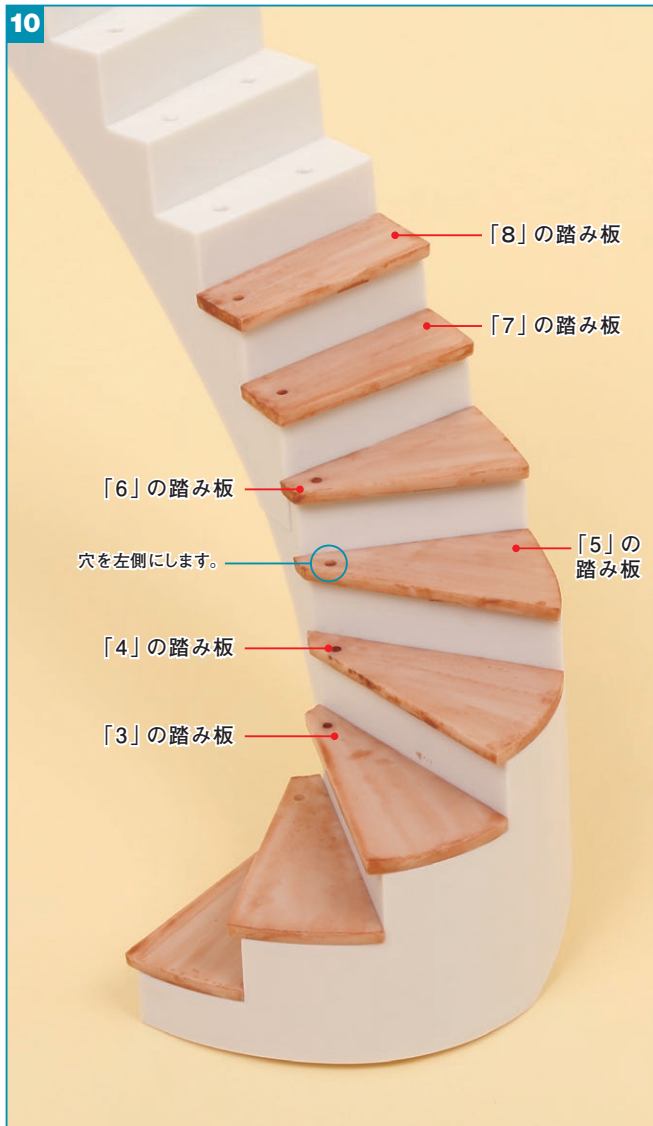
組み立て後も見える部分なので、踏み板の厚みも塗ります。また、裏面のふち約3mmも着色します。



階段(下部)の一番下の段の穴に、裏面に「1」と記された踏み板の突起を差し込み、瞬間接着剤で接着します。



同様に、下から2段目に、裏面に「2」と記された踏み板を接着します。



下から3～8段目に、各踏み板を接着します。

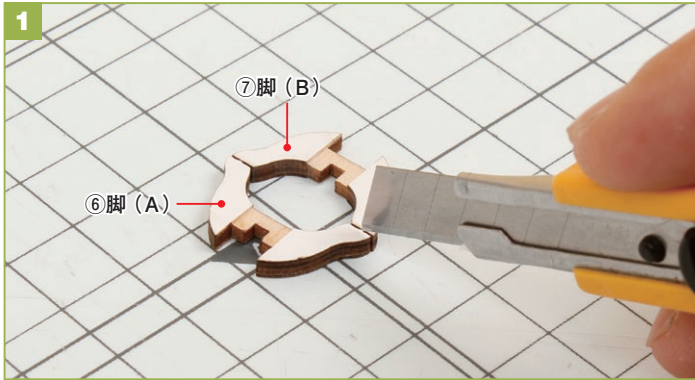


優美な曲線を描く2階の階段の形ができ上がり、踏み板も加わりました。次号では、残りの踏み板を接着し、手すりをつけて仕上げます。

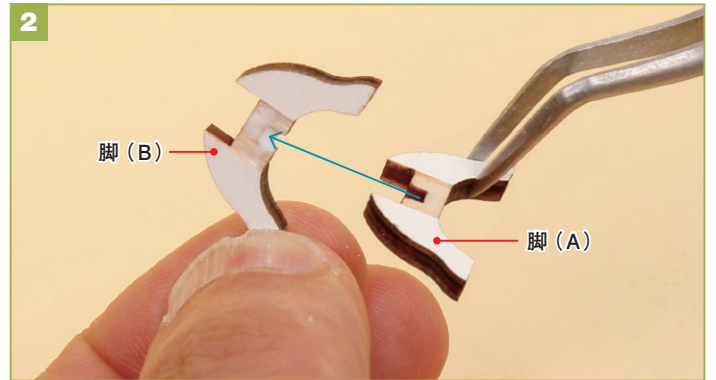




## 家具 ムーミンパパの椅子の組み立て



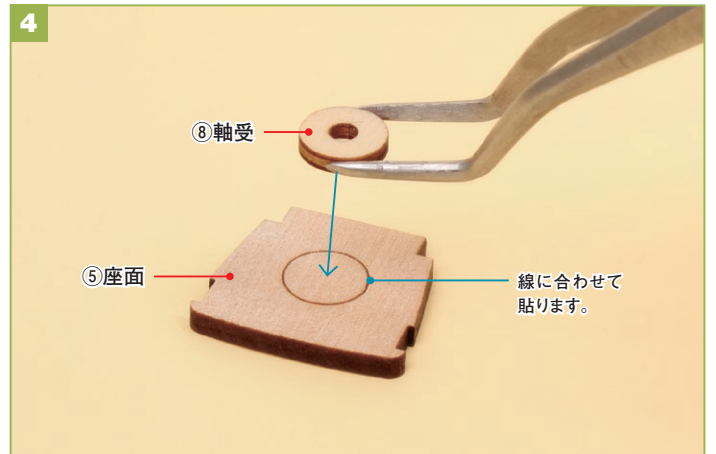
⑥脚(A)と⑦脚(B)の継ぎ目をカッターナイフで切って外し、切り口に紙ヤスリをかけて平らにします。



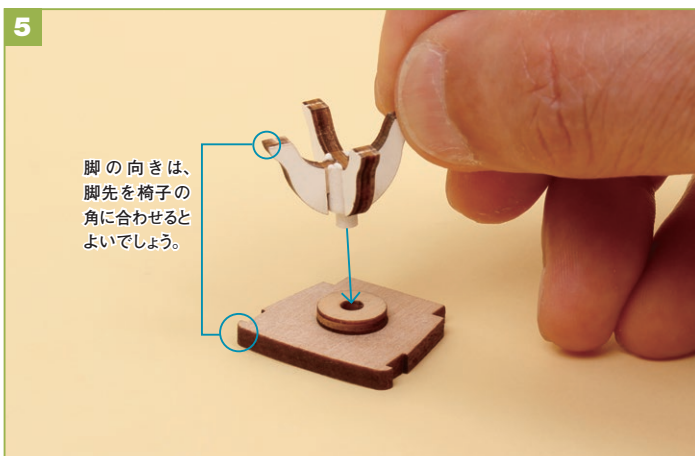
脚(A)と脚(B)の切り込みをかみ合わせ、ボンドで接着します。



脚の上に⑨軸をかみ合わせ、ボンドで接着します。



⑤座面に⑧軸受をボンドで接着します。



③で組み立てた軸の先端を、座面につけた軸受の穴に差し込み、ボンドで接着します。

今号の  
完成

ムーミンパパの書斎の机とセットになる、椅子の下側ができあがりました。次号で残りを組み立て、着色して仕上げます。



保管のポイント

組み立て前や組み立て途中のハウス・家具パーツは、エアキャップなどにくるんで、個別に箱に入れるなどして保管するとよいでしょう。

# MOOMIN

ムーミンハウスをつくる

## ビギナーズ ガイド 着色のきほん

ムーミンハウスの家具や小物の一部は、着色して仕上げます。  
ムーミンママのように絵の具を使いこなして、  
自分だけのムーミンハウスをつくりましょう！



## 着色に必要な基本の道具

### アクリル絵の具

本誌では、ターナー色彩株式会社のアクリル絵の具、アクリルガッシュを使っています。第5号付属のスターターキットのほかに、下の10色が必要です。

- ホワイト [WHITE]  
家具や下地色に
- ランプブラック [LAMP BLACK]  
調整色(混色)として
- ローシェナー [RAW SIENNA]  
家具・小物の着色に
- バートシェナー [BURNT SIENNA]  
家具・小物の着色に
- パーマネントスカーレット [PERM. SCARLET]  
屋根のアクセント色などに
- ライラック [LILAC]  
家具の着色に
- コバルトブルー [COBALT BLUE]  
外壁の補助色などに
- ブルーコンポーズ [BLUE COMPOSE]  
外壁の補助色などに
- ビリディアン(ヒュー) [BIRIDIAN(Hue)]  
家具・小物の着色に
- パステルローズ [PASTEL ROSE]  
家具の着色に



※色は参考のためのものです。  
実際の色とは異なります。

### 筆洗

筆を洗うためのものです。プラスチック容器などで代用してもよいでしょう。仕切り板があると、洗い用とすすぎ用に使い分けられるので便利です。



### 筆

基本的に平筆の大サイズか中サイズを使って着色します。第5号に付属しているのは、中サイズの平筆です。細かな部分の着色に、細めの丸筆を用意すると便利です。



### 絵皿

絵の具を混ぜたり溶いたりするのに使います。紙皿などでも代用できます。プラスチック製は、絵の具が乾くとはがれにくくなるので、使用后すぐに洗い流しましょう。



### アクリルガッシュの特徴

- ・アクリル絵の具は、合成樹脂が使われた絵の具です。水彩絵の具と異なり、仕上がりの発色が鮮やかなのが特徴です。そのうち、ツヤのない仕上がりのものがアクリルガッシュです。
- ・水彩絵の具と同様に水で溶いて使いますが、乾くと耐水性になります。そのため、上塗りする際に下地の色の影響を受けにくく、きれいに仕上がるのが特徴です。

**注意** アクリル絵の具は、服や家具などについて固まると、落ちなくなるので注意してください。

## あると便利な道具



### エコリムーバー

固まった絵の具をはがすための画材ですが、筆や絵皿などを洗う際に便利です。



### グロスワニス

ツヤ出しのためのニス的一种です。ムーミンハウスの床などに上塗りすると、少しツヤが出て重厚感が増します。



### スポイト

絵の具を溶く際に、水の量が調整しやすく便利です。100円ショップなどでも入手可能。



### ドライヤー

着色後、自然に乾燥させるよりも、短い時間で済みます。



## 絵の具を塗る前に

1

絵の具を出したら、口についた絵の具をふき取って、キャップをすぐに閉めます。口についた絵の具が乾くとキャップを開けにくくなります。



スポイトを使うと適量が出て便利です。



絵の具のキャップを開け、絵皿に適量を出したら、つくり方の説明の割合を目安に水を加えます。色合いはお好みで調整してもOK。

2

筆を使って絵の具を水で溶きます。ダマが残らないようにし、濃さが均一になるまでよく混ぜるのが、きれいに着色するためのポイントです。

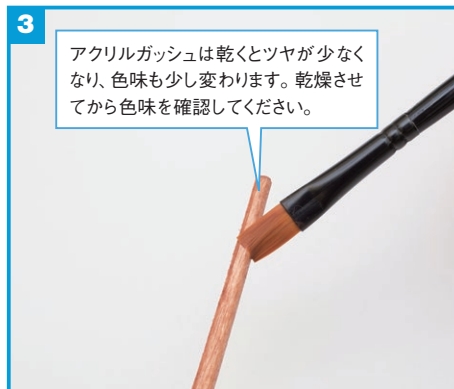


NG

OK

3

アクリルガッシュは乾くとツヤが少なくなり、色味も少し変わります。乾燥させてから色味を確認してください。



着色前に、不要な割り箸などに試しに塗って濃さを確認するとよいでしょう。重ね塗りすれば濃くなるので、少し薄めにしておくとよいでしょう。

## 使った後のお手入れ

1

使った筆をそのままにしておくと、絵の具が乾いて固まり、洗っても落ちず、筆が使えなくなることも。使い終えたらすぐに、筆を水でよく洗います。



2

根元に残った絵の具もよく洗い落とします。



筆先の根元には絵の具が残りがやすいものです。筆を傷める原因になるので、筆洗の縁などを使って根元の絵の具も洗い落としましょう。

ADVICE  
アドバイス

エコリムーバーを使えば、よりきれいに筆が洗えます



よく洗ったつもりでも筆には絵の具が少し残っています。よりしっかり絵の具を落とすにはエコリムーバーがおすすめ。絵皿に必要な分だけ出して筆を洗いましょう。

3

筆はこまめに洗い、残った絵の具や水気をふき取るのが重要です。



洗った筆はキッチンペーパーなどでふき、水気を切って保管しましょう。